

2017年10月8日（日） 「いかなる貪欲にも注意せよ」 ルカ12：13～21

聖書箇所：ルカ12：13～21

タイトル「いかなる貪欲にも注意せよ」

テーマ：群衆のひとりが、イエスに遺産分けの仲介役を頼んできたのをきっかけに、イエスはいかなる貪欲にも注意せよと警告を寄せられます。「貪欲」とは何でしょうか。そして、「貪欲」は私たちに何をもちたらすのか、なぜ警戒しなければならないのかを考えてみましょう。

### 1. 文脈の確認

- ①ルカ11：37～44 パリサイ人の偽善を糾弾されたイエス
- ②ルカ11：45～52 律法学者への叱責
- ③ルカ11：53～54 イエスに言いがかりをつけようとイエスに質問する律法学者、パリサイ人たち
- ④そこに集まって来た群衆
- ⑤弟子に対するイエスの言葉
  - ・パリサイ人のパン種に気をつけよ。
  - ・人を恐れるな、神を恐れよ。

### 2. 群衆の中からあがった声

- \*イエスに遺産分けの仲介を願った
- \*イエスはこの世の裁判官でもなければ調停者でもない

### 3. イエスの警告

- ①「どんな貪欲にもよく注意して警戒しなさい」
- ②「貪欲」とは何か？

聖書が貪欲について語っている箇所とそれぞれの共通項をチェック

\*エペソ5：5

「あなたがたがよく見て知っているとおりに、不品行な者や、汚れた者や、むさぼる者——これが偶像礼拝者です。——こういう人はだれも、キリストと神との御国を相続することができません。」

\*コロサイ3：5

「ですから、地上のからだの諸部分、すなわち不品行、汚れ、情欲、悪い欲、そしてむさぼりを殺してしまいなさい。このむさぼりがそのまま偶像礼拝なのです。」

\*ヘブル13：5

「金銭を愛する生活をしてはいけません。いま持っているもので満足しなさい。主ご

自身がこう言われるのです。『わたしは決してあなたを離れず、また、あなたを捨てない。』』

\*モーセの十戒の中の第十戒（出エジプト20：17）

「あなたの隣人の家を欲しがってはならない。すなわち隣人の妻、あるいは、その男奴隷、女奴隷、牛、ろば、すべてあなたの隣人のものを、欲しがってはならない。」

以上の聖句から貪欲は偶像礼拝と不信仰につながる事がわかる。

4. 貪欲を戒めるためイエスが語られたたとえ話

5. トルストイの短編「人にはどれほどの土地が必要か」の中から

6. 結論

①「貪欲」は偶像礼拝につながり、真の神に対する信仰の欠如であること

②ルカ12：13～21は、このあと続く神の恵みがいかなるものかを伝える導入部となっている。

\*12：22～31は、貪欲にならなくてもよい理由を教えている

\*12：32～34は、貪欲のため失敗した金持ちと正反対の生き方を教えている。

\*私たちが真に求むべきは神の国と神のご支配である。